

審査委員  
特別賞  
(新築)

# 広島県

稲上 幸生

稲上幸生建築設計事務所

【作品名】1R

設計	稲上幸生建築設計事務所
施工	工匠くつろぎ 株式会社
竣工日	2019年3月31日

## ◎建物概要

建設地	広島県三原市	延床面積	99.36㎡
敷地面積	240.30㎡	構造・規模	木造2階建

## ◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

## 平面図



## 断面図



①リビングからダイニングキッチンを見る。施主の要望である薄暗く静寂な空間を作り上げた。



②子ども部屋は3つの空間に分割できるよう、出入口、収納棚、ロフトへの吹抜を設け、ロフト部分を各寝室にできるよう設計。

③吹抜に面して2階に設けたスタディールーム。子ども部屋と夫婦の寝室前に配置し、自由に使うことができる。



## 設計コンセプト

広島県三原市の住宅街。計画地は南北を山林に挟まれた谷に位置し、北西側の山からは土砂災害特別警戒区域のレッドラインが敷地の半分を覆っている。だがこの地に愛着を抱く施主の思いを鑑み敷地に潜む豊かさを最大限に活用することを課題とした。

施主からは、LDKは薄暗く、外部に対して閉鎖的だが内部に対しては開放的な空間、寝室・子ども部屋といった居室には扉は必要なく家族の声がどこにいても聞こえてくる空間を要望された。要望に対して、三枚の屋根と断面的に大きな一つの空間で構成された建築を設計した。

各屋根の下にはリビング、study room、各居室、ロフトを設け、各

用途に対して隣地からの視線、光や風、プライバシーを考慮しそれぞれ異なる勾配とした。

各屋根により各空間には異なる開放感を与えられ、リビングからロフトへかけての一つの空間が薄暗く静寂な空間から光や風を感じる開放的な空間へと立体的に変化する。

断面的な一つの空間に対して各屋根を設けることで多様な関係性と距離感を立体的に与えることができる1R空間とした。

## 審査委員講評

大屋根が印象的な外観です。それぞれ異なる勾配の3枚の屋根は単に意匠的なものとしてだけでなく、通風と採光といった機能を考えてデザインされたものということが見て取れます。内部は巨大なワンルーム。忍者屋敷のような複雑な木組みを眺めながら暮らす3人のお子さんは毎日楽しいだろうなあ。内、外とも子育てにぴったりの「お家」です。